

船舶事故等調査報告書（軽微）

1	船舶事故	計	60件
2	船舶インシデント	計	13件
		合 計	73件

平成23年1月28日

運輸安全委員会

船舶事故等調査報告書（軽微）一覧

（仙台事務所）

- 1 旅客船3号はやぶさ運航阻害
- 2 漁船第十八宝洋丸養殖施設損傷
- 3 漁船第一くろさき丸乗組員負傷
- 4 旅客船3号はやぶさ衝突（岸壁）
- 5 遊漁船長栄丸モーターボート爽海
2007衝突

（横浜事務所）

- 6 漁船第十八和丸漁船第十八増栄丸
衝突
- 7 貨物船第六十八伸光丸座洲
- 8 貨客船あぜりあ丸乗組員負傷
- 9 貨物船HARIMA2 漁船鈴恵丸衝突
- 10 貨物船昭洋丸衝突（灯標）
- 11 貨物船寶生丸衝突（防波堤）
- 12 貨物船ORIENTE CHALLENGER 漁船
幸幹丸衝突
- 13 貨物船WAN HAI 316 貨物船第二幸
栄丸衝突
- 14 油送船月光丸衝突（橋桁）
- 15 モーターボート金二丸座洲
- 16 モーターボート佐治丸沈没
- 17 警備艇するが乗揚
- 18 貨物船第五鹿兒島丸衝突（海中の
障害物）
- 19 貨物船千川丸座洲
- 20 砂利採取運搬船第一中央丸座洲
- 21 油タンカー新川丸乗揚
- 22 貨物船新衛丸衝突（防波堤）
- 23 引船だいおう衝突（灯浮標）
- 24 水上オートバイ LOVE 水上オート
バイデン衝突
- 25 モーターボートKANATALA 乗揚

- 26 水上オートバイラク水上オート
バイ真一・三号衝突
- 27 貨物船EVER PEACE 漁船優聖丸衝
突
- 28 貨物船ORIENTE CREST 漁船秀蒼丸
衝突

（神戸事務所）

- 29 貨物船第五高砂丸乗揚
- 30 水上オートバイ暴れん棒将軍搭乗
者負傷
- 31 砂利採取運搬船導丸乗揚
- 32 砂利採取運搬船第六幸徳丸乗揚
- 33 貨物船幸栄丸乗揚
- 34 砂利採取運搬船第十八信正丸乗揚
- 35 油タンカー日俊丸乗揚
- 36 引船明治丸乗揚
- 37 引船つるぎ作業船K S C - K 7 5
衝突（防波堤）

（広島事務所）

- 38 漁船第一浦郷丸運航不能（機関損
傷）
- 39 作業船第三十二大生丸衝突（棧
橋）
- 40 モーターボートトムボーイII交通
船せと衝突
- 41 漁船天竜丸乗揚
- 42 貨物船第三神光丸漁船貴翔丸漁船
正栄丸衝突（漁具）
- 43 油送船第八寿丸座洲
- 44 漁船奥田丸衝突（養殖筏）
- 45 モーターボート大乘揚
- 46 釣船ひょうたん丸1号乗揚
- 47 モーターボートめばる丸衝突（か

き筏)

(門司事務所)

- 48 貨物船盛和丸乗揚
- 49 貨物船萬吉丸乗揚
- 50 転錨船第5003いかり丸乗揚
- 51 押船第二十一栄進丸バージ第二十一栄進丸乗揚
- 52 貨物船第十一大日丸乗揚
- 53 貨物船隆邦丸運航阻害
- 54 押船ジェイケイバージJK-1衝突(灯浮標)
- 55 ヨットKAZUE座洲
- 56 起重機船穂高丸乗揚

(長崎事務所)

- 57 貨物船第八さとみ丸乗揚
- 58 貨物船第八さとみ丸乗揚
- 59 モーターボート二幸丸乗揚
- 60 砂利採取運搬船第八栄勝丸乗揚

(那覇事務所)

- 61 漁船第十八千代丸運航不能(機関損傷)
- 62 ヨットサザンクロス運航不能(舵故障)
- 63 漁船第十八千代丸運航不能(機関損傷)
- 64 漁船第5善幸丸乗揚
- 65 遊漁船海宝丸乗揚
- 66 遊漁船ゼロ乗揚
- 67 警備艇なぎ乗揚
- 68 プレジャーボート鷺丸運航不能(機関損傷)
- 69 旅客船いえしま衝突(浮標)
- 70 貨物船第七海宝丸乗揚
- 71 貨物船第三健和丸乗揚
- 72 油送船天竜丸乗揚

73 旅客船フェリーかけろま衝突(岸壁)

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第165号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年7月8日 11時00分ごろ	
発生場所	旧江戸川河口 千葉県浦安市浦安沖灯標から真方位310° 2.8km付近 (概位 北緯35° 37.7′ 東経139° 52.2′)	
事故等調査の経過	平成22年8月23日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	油タンカー ^{しんかわ} 新川丸、61トン	
船舶番号、船舶所有者等	133147、有限会社潤洋海運	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海） 機関長、六級海技士（航海）、五級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	船底に塗膜剥離	
事故等の経過	本船は、船長及び機関長が乗り組み、潤滑油約180klを積み込み、旧江戸川の河口付近を航行中、平成22年7月8日11時00分ごろ、浅所に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 5、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の中央期、潮高 約86cm	
その他の事項	本事故当時の操船者は、機関長であった。 本事故当時、本船の喫水は、船首約2.20m、船尾約2.55mであった。 本事故発生場所付近には、「三枚洲」と呼ばれる浅瀬が存在し、航行可能とされる海域においても相当量の土砂が堆積して水深が浅くなっていた。 本船は、ふだんから発生場所付近を航行する際には、航行の可否を潮高等により判断していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、旧江戸川河口付近を航行中、潮高の確認が適切でなかったため、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、旧江戸川河口付近を航行中、潮高の確認が適切でなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	